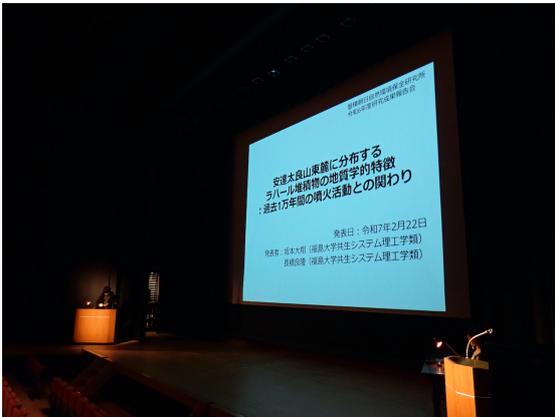


令和6年度研究成果報告会開催報告

磐梯朝日自然環境保全研究所の今年度の研究成果報告会を、2025年2月22日、昨年度と同じ会場である猪苗代町体験交流館「学びいな」多目的ホールで開催しました。研究成果報告会は毎年、裏磐梯地域と猪苗代地域とで交互に開催してきましたので、今年度は裏磐梯地域での開催予定でしたが、会場確保ができず、猪苗代地域での開催となりました。今年の会津地方は記録的な大雪で、一時期は磐越西線が運休するほどの積雪で、猪苗代町もすごい積雪量でしたが、学内外から34名（学外者22名）の方にご参加頂きました。学生による発表3題、研究者による発表3題の計6題の研究成果が報告されました。発表内容も、水文地質環境が地中熱ポテンシャルの地域性・一般性に及ぼす影響-福島県猪苗代平野および会津盆地を例にして-（鳥越・柴崎）、安達太良山東麓に分布するラハール堆積物の地質学的特徴：過去1万年間の噴火活動との関わり（坂本・長橋）、福島県におけるトラファザミウマの分布とその形成要因（山本・塘）、裏磐梯の百貫清水はどこで涵養された水？-マルチトレーサー手法を用いた推定結果の紹介-（藪崎・竹谷・金・久田）、中性化後の猪苗代湖の水生植物の変化を探る-環境省モニタリング1000の結果から-（黒沢・山ノ内・加藤・出島・三浦・朴・青木）、裏磐梯にある株式会社ニチレイ社有地内の池沼とレンゲ沼の底生動物相-約10年前の調査結果との比較-（塘）と、水・地球系が3つ、生物系が3つとバランスが良かったと思います。様々な質問やコメントを頂きましたが、一般向けの報告会であることを意識したプレゼンテーションを心がけて欲しいとの強い要望も出されました。ご参加下さった地域の皆様、ありがとうございました。



坂本君（長橋研）による発表



地球研の藪崎さんによる発表



会場の様子（質問者からの質問）



休憩中の様子